

平成30年度 施策評価シート（平成29年度実績評価）

政策 04 快適に暮らせるまち  
 施策 03 道路網・公共交通体系の整備  
 主管課： 建設課  
 関係課： 企画課、都市計画課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民	市民が安全で快適に移動できるまちをつくる。

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

市内の道路は安全に通行できると感じている市民の割合 (%) 建設課					
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
71.70	74.40	77.90	74.60	0.00	75.00
向上指針	上がると良い	(状況) 平成29年度の市内の道路は安全に通行できると感じている市民の割合は、77.9%で昨年度と比較し、3.5ポイント増加しています。 (原因) 毎年、交通安全施設整備事業により危険個所の改善を実施するとともに、竜ヶ崎工事事務所や取手警察署と連携し通学路安全点検により、危険個所を把握し安全対策を進めていることが考えられます。			
対前年度	向上				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

公共交通に対する市民の満足度 (%) 企画課					
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
48.60	46.50	49.30	50.70	0.00	57.00
向上指針	上がると良い	(状況) 平成28年度と比較すると、2.8ポイント向上しています。 (原因) バスのICカードの導入により利便性が向上したことが考えられる。			
対前年度	向上				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	決算	決算	決算	予算	見込
事業費合計	628,659	513,826	847,873	908,847	1,782,871
人件費	0	47,163	63,127	0	0
トータルコスト	628,659	560,989	911,000	908,847	1,782,871

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
01 未改良道路の整備	向上	向上				209,180	121,992	114,998	227,788	179,855
02 道路の適切な維持管理	向上	低下				200,365	201,768	386,028	299,804	293,961
03 都市計画道路の整備	横ば	横ば				120,942	93,544	247,071	282,200	1,210,000
04 公共交通網の充実	向上	向上	横ば	向上		92,575	92,038	94,660	93,111	93,111
99 施策の総合推進						5,597	4,484	5,116	5,944	5,944

5 施策全体の取組状況と課題

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

都市計画道路については、補助金を活用し、計画的な用地の取得及び整備を行っていきます。 バス交通については、公共交通網再編計画に基づき、デマンドタクシー等の新たな交通手段等を検討し、更なる利便性の向上に取り組んでいきます。 つくばエクスプレスの東京駅延伸、8両編成への増両、通学定期券の割引率の拡大を引き続き国や鉄道会社等へ積極的に働き掛けていきます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

前年度の実績内容、成果及び次年度以降に向けた課題

都市計画道路坂町清水線、みずき野大日線は、国庫補助金の採択率が低いことから、土地開発公社の活用により用地取得を行っていますが、さらに事業を推進し早期開通を図る必要があります。 つくばエクスプレスの東京駅延伸や8両編成への増両を引き続き国や鉄道会社等へ働きかけ、早期実現を図る必要があります。 バス交通については、今後も市民ニーズに合った新たな交通手段等を検討し、利便性の向上を図る必要があります。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

次年度の方針（当該年度の全庁政策会議での決定事項）

通学路の安全確保を図るため、引き続き都市計画道路坂町清水線の整備を推進する。 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、適切に橋梁の修繕を進める。 公共交通については、新たな手段を導入し、交通体系の再編による運行を開始するとともに検証に努める。 つくばエクスプレスについては、更なる利便性向上を図るため、沿線自治体と連携し、混雑緩和対策となる増便の早期実施を要望するとともに、8両編成化や東京駅延伸の実現に向けて調査を実施する。	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加